

る。従来は高性能なパソコンがないと使えなかったが、パソコン並みに進化した高機能携帯にソフトを搭載、屋外で手軽に利用できるようにする。大手に先んじて使い勝手の良い製品を投入し新市場を掘り起こす。

イチベルなどIT 大手より先

高機能化、新市場生む

翻訳ソフト開発のイチベル(横浜市、坂元一郎社長)は米アップルの携帯電話「iPhone(アイフォン)」向けに音声翻訳ソフトの配信を始める。意味の流ちょうな英語

が音声で流れる。最初の入力時の発音が正しければ8割以上の精度で翻訳するという。ソフトの価格は3200円。翻訳の処理に外部のサーバーを利用しないのが特徴で、ソフトを組み込んでおけば、携帯の通信機能が使えない場所でも利用できる。クロスランゲージ(東

英語、中国語、ベトナム語などを音声で翻訳可能な高機能携帯向けシステムを早期に実用化する計画。サイバードインの「ロボスーツ」は、高精度の音声翻訳の技術はNEC、東芝といった大手も開発を進めているが、製品化には至っていない。スウェーデンで実証実験

病院。ロボ下半身部分シリコンで確かめHALLの野について定。期間ければ3日HALLをマ持ち込み、派遣する方

肉4.5ト 解凍1時間

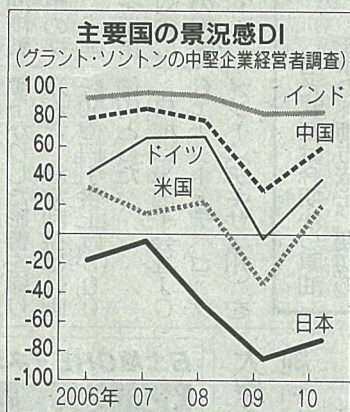
山本ビニターが装置 温度ムラなく

高周波機器メーカーの山本ビニター(大阪市、山本泰司社長)は1時間に4・5トの冷凍肉を解凍できる装置を製品化した。電子レンジなどで加熱用に使った高周波が冷凍肉にまんべんなく当たるよう制御し、同社の従来品と比べ解凍能力を1・5倍に高めた。中国で建設が進む大型食品工場を主な対象に、年5台の販売を目指す。装置のサイズは長さが18・6メートル、幅が2・75メートル。冷凍肉が入った段ボールをそのまま装置内部のベ

ルトコンベヤーに置き、高周波を照射してセ氏マインス2度まで温める。段ボールはいくつに分かれていても処理可能で、1時間に4・5トまで解凍できる。水蒸気などで解凍するよりスピードが速く、肉のうまみ成分の流出も防げるという。冷凍肉の形状や温度を感知するセンサーの性能を高め、一度に多くの肉を投入しても高周波の強さを自動調節して均一に加熱できるようにした。従来は形状や質がまばらな肉をまとめて投入する

国際会計事務所グループ、プーランド・ソントンの調査で、世界36カ国・地域の中堅企業経営者のうち、2010年の自国の景況感を最も悲観しているのは日本の経営者だった。景況感を良いと答えた人の割合から、悪いと答えた人の割合を引いたDIは、日本がマイナス72。前回より13ポイント改善したものの、4年連続で最下位となった。調査は8回目で、従業員100〜750人の非上場

中堅企業経営者の景況感 日本が4年連続最下位



企業の経営者を対象に09年 回答を得た。10月11月に実施。740 日本(日本は298社)の 0社(日本は298社)の と考える理由を複数回答で 民間調査「改善には新市場開拓必要」

聞くと「内需 ローバル化 縮小」が58% れが景況感 で最多。「販 いる」と分析 売価格の下 新市場の開拓 落(41%) う。 「日本の政治 の先行き」(39 スなのはスベ %が続いた。 スのみ。DI グラント・ はインドの84 ソントンに加 リアの79な

寿命延ばす技術開発

ム電池 リイ
電子部品開発のイーメックス(大阪府吹田市、瀬和信吾社長)はリチウ

ムイオン電池の寿命を延ばす技術を開発した。電極の主材料であるスズの

返せるという。まず年内に電動スクーター向けで実用化を目指す。リチウムイオン電池は充電時に正極から発生したリチウムイオンを、スズやシリコンを主材料とする負極が取り込んで蓄電する。その際に主材料が膨張するため、充放電を繰り返すと主材料の微粒子の間の結びつきが弱まってしまふ。同社は負極の素材にスズのメッキを施した樹脂を使用。充クッションしてスズの微粒子間の微粒子間の結びつきが弱まらずに安定すれば、も対応しやう。